



# 学校だより

平成28年1月8日  
四日市市立小山田小学校



## 2016（平成28）年 明けましておめでとうございます ～3学期 新たな気持ちでスタートしよう！～

新年あけましておめでとうございます 皆さん、お正月は楽しく過ごせたでしょうか。さて、今日からいよいよ3学期が始まります。

3学期は、1、2学期に比べて、短い学期です。学校に来る日は、土曜授業を含めて、6年生は3月18日（金）の卒業式までの51日、1年から5年生は3月25日（金）の修了式までの55日しかありません。だからこそ1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

特に、6年生は小学校で学習することをしっかりと身に付けて、小山田小で学んでよかったと言えるような思い出をたくさんつくってください。

1年生から5年生も、今の学年でやるべきことにしっかり取り組んで、立派に進級できるようにがんばってほしいと思います。

小山田っ子一人ひとりが自分のめあてを決めて、新たな気持ちで2016年のスタートを切ることができるよう、職員一同、精一杯応援します。

本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 保護者参加型の避難訓練 シェイクアウト訓練のお知らせ



1月中に地震を想定した避難訓練を行います。今回は、子どもたちに実施日時を知らせずに行います。

また、同時に、初めての試みとして、近年注目されてきた『シェイクアウト訓練』を保護者対象に行います。この訓練は、学校・家庭などで一斉に訓練を実施することにより、実際の場面で、子ども・保護者ともにどう行動すべきかシミュレーション（仮想体験）して、防災意識を高めようというものです。

以下の要領ですので、保護者の皆さまも可能な限りご協力ください。

- ① 学校での避難訓練に合わせて、「すぐメール」で訓練メールを配信します。
- ② 配信されたメールを開いたときを「地震が発生」したときと想定し、可能であればご家庭でも体を守る行動などをとってみてください。
- ③ 「もし今、大きな地震が発生したらどうするか」（避難方法、避難先、子どもの迎え、避難場所や自分の安否を誰にどう伝えるか、など）を考える機会にしてみてください。

備えあれば憂いなし～意識してみることで、万が一の場面に備えましょう。



# おはよう！ またあした！ おやまだっ子通信



小山田小学校長

## “さる”も落ちる？ ことわざから学びましょう

今年の干支（えと）の「猿（さる）」に関することわざクイズ。（ ）にはどんな言葉が入るでしょうか。

- ① 猿も（ ）から落ちる ② 猿の（ ）まね ③ 猿の（ ）笑い  
④ （ ）ざる （ ）ざる （ ）ざる

3学期は、寒さに負けない体づくりのために各学級で『8の字跳び』に挑戦します。ビュンビュン回る大縄にタイミングよく入って、ひっかからないように走り抜けるのにはコツがいりますね。経験がない人や苦手な人はしっかりと練習に取り組んでほしいと思います。



得意な人も、さらに上達するように練習しましょう。普段どれだけ上手にできていても、思わぬミスをしてしまうことがあるからです。木登り名人と言われる猿も、ときには木から落ちてしまうことがあることから、どんなにその道に優れていても、時には失敗してしまうことを「猿も木から落ちる」と言います。



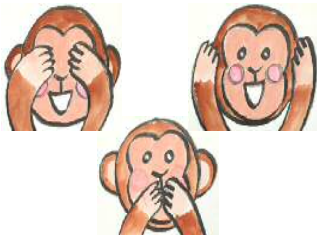
勉強でも運動でも同じですが、「普段はできているから」と油断しないこと、もし失敗してしまってもくじけずに次に向けて練習することを大事にしてほしいと思います。

苦手な人は、得意な人の跳び方をよく見て、いいところを見習うとよいでしょう。考えもしないで、人まねをするとうまくいかないことを「猿の人まね」と言います。ただ何となくまねをするのではなく、友だちの跳び方から上手に跳ぶためのコツをつかみとって、自分の跳び方に生かすように工夫しましょう。

また、学級で取り組むからには、友だちと協力し合って、皆の技が上達することをめざしてほしいと思います。失敗した友だちに対して「おいしい。もうちょっと」「次、がんばろ！」などと励ましの言葉をかけたり、跳び方のアドバイスをしたりすることはとても大切です。跳んだ回数記録だけでなく、みんなが気持ちよく練習ができるようにチームワークを大切にしてほしいからです。



くれぐれも「だめだなあ」「下手だなあ」などと責める言い方はしないように。自分だって、最初からできたわけではないし、失敗してしまうこともあるのです。自分の欠点には気づかずに、他人の欠点をあざ笑うことを「猿の尻（しり）笑い」と言うそうです。実際のお猿さんはそんなことはしないと思いますが、友だちの欠点や失敗ばかりを笑うことはかっこいいとは言えませんね。



「見ざる聞かざる言わざる」とは、他人の欠点や失敗を見たり聞いたり言ったりしがちになるので、そんなことはしないほうがいいよ（見ないように、聞かないように、言わないようにしなさい）という教えです。

小山田っ子は、友だちが傷つくようなことをうわさしたり、いじめや仲間はずしに加わったりなどは絶対にしないと約束してください。

でも、隣の子が困っていたり泣いたりしているのに「見ざる、聞かざる、言わざる」では困ります。そんなときは、その子の様子をよく見て、話を聞いて、思いやりの言葉を言ってほしいと思います。



また、学校生活、特に勉強に関して「見る、聞く、言う」を大切にしてほしいと思います。

- 見る…問題文を見る、実験や観察結果を見る、話している人の方を見る など
  - 聞く…先生や友だちの話を聞く、放送やチャイムの合図を聞く など
  - 言う…授業で発表する、進んであいさつする、思いやりの言葉をかける など
- 猿に関することわざを心にとめて、3学期もがんばりましょう。（森本）

